

認定  
すべき

# 決算 特別委員会

委員長 澤本長俊

## 27年度一般会計決算

歳入決算額は、前年度と比較すると約9億1100万円減少しています。主な要因としては、ふるさと納税により寄附金が約2億6300万円、消費税率改正により地方消費税交付金が約3億7000万円など増収となりましたが、固定資産税や市民税の減により市税が約1億1200万円、地方交付税が合併算定替えによる段階的縮小等で1億9300万円、そのほか国庫支出金などの減収によるものです。

そして、歳出決算額は、昨年度と比較すると約13億500万円減少し、予算額に対する執行率は93.1%でした。主だったものを目的別に前年と比較すると、土地開発基金財産買戻しなどにより総務費が約5億7900万円、汚泥処理施設共同整備事業の実施等により衛生費が約1億7500万円

の増となる一方、小中学校大規模改修事業の終了等により教育費が約7億5100万円、台風に伴う災害復旧事業の終了により災害復旧費が約9億6800万円減少しています。

決算審査に当たっては、予算執行の結果や、行政効果を客観的に検証し、今後の予算編成や財政運営に活かされるよう審査を行いました。

採決の結果、付託された11議案は「認定すべきもの」と決定しました。

### 本会議での討論

平成27年度高島市一般会計歳入歳出決算の認定について

反対

粟津泰藏

生活貧困層の増加にもかかわらず、医療や介護の負担増、滞納者への未収金強制回収強化の方向であり、公共施設の有料化、小学校跡地利用に無償の企業誘致、利用目的の決まっていない公有地土質調査など、市民の納得は得られない。

賛成

梅村勝久

まち・ひと・しごと創生総合戦略や、自主財源の少ない中でふるさと納税を見直し2億8000万円超の寄付をいただけたことなど時代に即応した取組は、未来を築く職員の新たな力を感ずることができた決算であった。次年度の予算にも期待する。

### 健全化判断比率の状況

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	県内市町平均(H26)	早期健全化基準※
実質赤字比率 (一般会計を中心とした赤字の割合)	赤字なし	赤字なし	赤字なし	赤字なし	赤字なし	12.59%
連結実質赤字比率 (全ての会計の赤字の割合)	赤字なし	赤字なし	赤字なし	赤字なし	赤字なし	17.59%
実質公債費比率 (年間の借金返済額の割合)	14.4%	13.4%	12.1%	11.3%	8.6%	25.0%
将来負担比率 (将来負担が見込まれる負債の割合)	147.0%	113.6%	90.7%	72.0%	18.0%	350.0%

#### ◆健全化判断比率とは

自治体の財政状況を早期に把握し、破たんを防ぐことをねらいとして制定されたもの

※この基準を超えると、財政再建のための計画をつくり、立て直しに取り組む必要があります。

#### 歳入歳出決算状況 (単位:千円)

会計	年度	歳入決算額		歳出決算額		歳入歳出差引額	
		平成27年度	平成26年度	平成27年度	平成26年度		
一般会計	平成27年度	29,013,446	29,925,385	27,647,031	28,952,509	1,366,415	
	平成26年度	29,925,385	28,952,509	28,952,509	27,647,031	972,876	
特別会計	平成27年度	15,490,577	14,506,500	15,384,083	14,473,347	106,494	
	平成26年度	14,506,500	14,473,347	14,473,347	14,506,500	33,153	
事業会計 (収益的収支のみ記載)	水道	平成27年度	1,118,119	1,006,720	977,679	981,681	140,440
		平成26年度	1,006,720	977,679	981,681	1,118,119	25,039
	病院	平成27年度	4,617,862	4,967,692	4,979,674	5,322,792	-361,812
		平成26年度	4,967,692	4,617,862	5,322,792	4,979,674	-355,100
	介護老人施設 (陽光の里)	平成27年度	457,760		456,967		793
		平成26年度	444,225		475,435		-31,210

### 本会議での討論

反対

森脇 徹

平成27年度高島市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について

市国保を県国保に移行すべく5327万円もの保険料引上げの年度。広域化で市民皆保険が守られる保障はなく、県下南北医療格差がある中、湖西保健医療圏の市民に等しく医療提供があるが、不安を残し踏み出した年度。

賛成

早川康生

国民健康保険特別会計は、またまた、財政基盤安定化へ向けた、道のりの途上であり、平成27年度の決算は、前年度と比して財務内容も大きく改善されており、適正な決算として認定すべきものと考えます。

### 本会議での討論

反対

森脇 徹

平成27年度高島市水道事業決算の認定について

生活困窮が増えている中、22%引上げの年度。年度末には滞納世帯は470柱で給水停止50柱にも。準生活保護者やひとり親世帯には水道代の減額を。新旭簡易水道統合事業には、企業債でなく一般財源の投入が必要。

賛成

大日 翼

独立採算制のもと、市民生活に欠かせない水道水を安定供給するため、収納率向上を図る取り組みなど、経営健全化のための努力や建設改良事業の推進が図られていることから賛成する。